

和歌山県市町村DX合同研修(紀北エリア)事例発表

# 和歌山市のDX推進

令和5(2023)年9月4日

デジタル推進課DX推進班  
東 太郎

# 和歌山市の取組み

- DX推進班では、デジタル化推進計画策定、LoGoフォームの運用、オープンデータカタログサイト開設など市内DXを推進。直近ではBIツール(Power BI Desktop)導入や、生成AI利用ガイドラインを策定
- 個人的には、可能な限り**予算ゼロ**かつ**自前**での機運醸成と情報収集に注力。最近ではBIツールに夢中

## 計画策定(R4.5)

### 和歌山市 デジタル化 推進計画

#### ワーキンググループ

- 市民サービス向上  
(オンライン申請・キャッシュレス)
- 業務効率化/働き方改革  
(電子決裁・契約、ペーパーレスなど)
- 人材育成・確保  
(自前研修、外部人材)
- 生成AI研究会

## オンライン申請システム

本運用:R4.4、プレ:R3.7

LoGoフォーム



## ビジネスチャット

本運用:R4.5、プレ:R3.11



## オープンデータ カタログサイト(ODCS)

開設:R4.7



<https://odcs.bodik.jp/302015/>

## BIツール

本運用R5.7



## 外部人材



- R3:内閣官房・内閣府のデジタル専門人材(G-com)
- R4:CIO補佐業務(NTT西)
- R5:県DXアドバイザー(菅原氏、下山氏)

## DX相談・支援

R4.8・12、R5.8



DX Rooms 2023 Summer  
8/9 9:00~16:30  
7階ミーティングルーム

## フリーアドレス実証

R4.9~



## 市内ハッカソン

R5.2



## マニュアル整備

- ペーパーレス会議
- WEB会議機器接続
- elgana

## 市内研修

- 新採研修
- LoGoフォーム
- BIツール
- 幹部勉強会

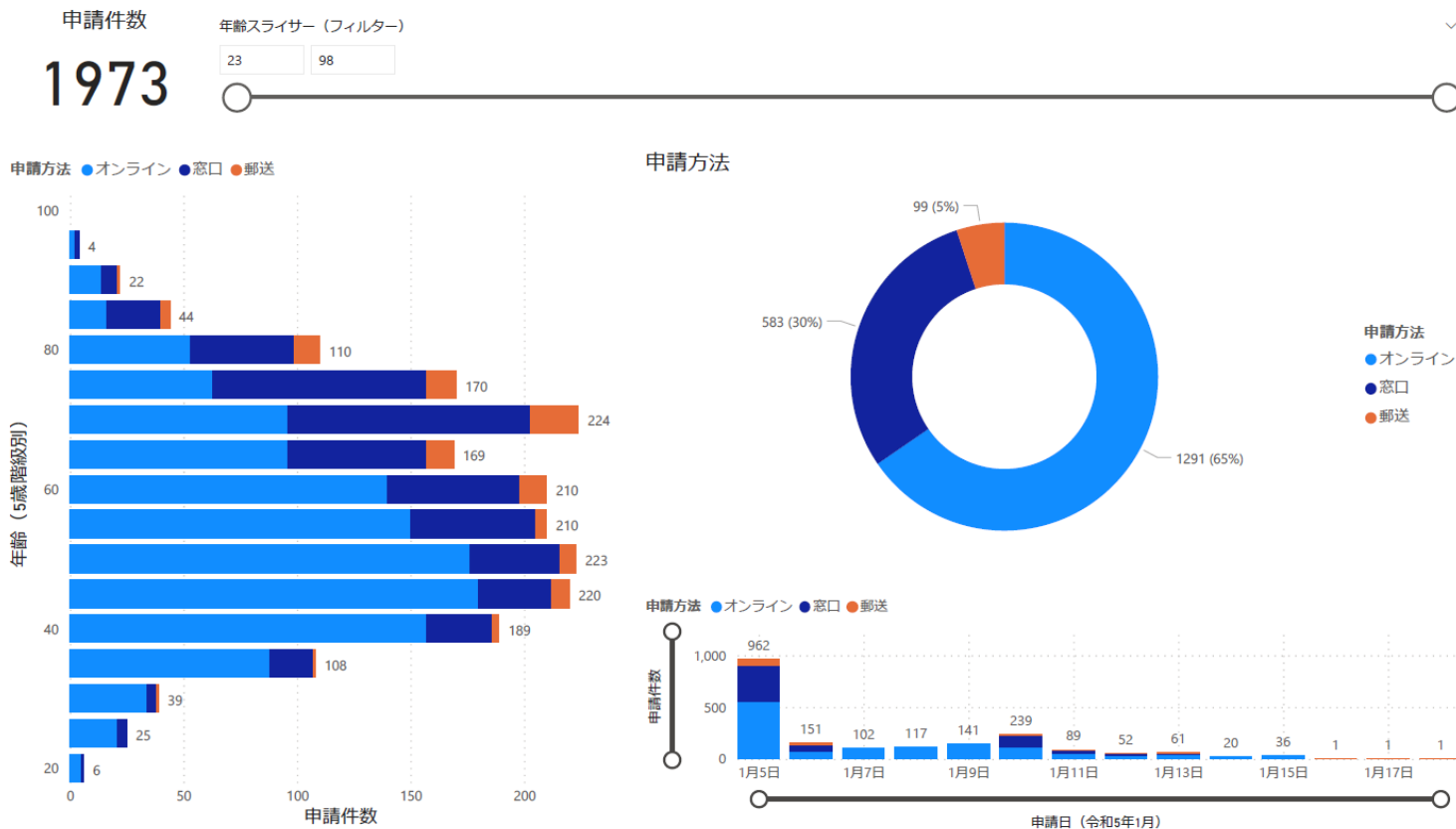
## 情報収集・意見交換

- J-LISフェア
- JIAM、JAMP、自治大研修
- ウェビナー・e-Learning  
(総務省・デジ庁、東京都、神戸市ほか)
- DX共創PF(slack)
- 県DX会議、県内市町村  
企業・大学  
など

## スマホ教室

# オンライン申請のベストプラクティス

- 令和5年1月受付開始の省エネ家電補助金において、申請ベースで**全体の65%がオンライン**（60才未満では80%）であり、窓口の混雑緩和、営業時間外の申請など、**市民サービスの向上**および**職員業務負担軽減**につながった。特に、先着順のため初日に申請が集中（オンライン554、窓口351、郵送57）し、オンライン申請無しでは成しえなかった
- 令和5年3月、省エネ家電補助金や出産・子育て応援給付金の**オンライン申請実績**をもとに、24年ぶりに**和歌山市補助金等交付規則が改正**



和歌山市補助金等交付規則(平成2年規則第27号)新旧対照表

現行	改正後(案)
<p>(様式の特例)</p> <p>第21条 市長は、この規則に規定する様式の定めにかかわらず、法令の規定による等別の様式を用いる必要が<u>あるもの</u>にあつては、別に定められた様式によることができる。</p>	<p>(様式の特例)</p> <p>第21条 市長は、この規則に規定する様式の定めにかかわらず、法令の規定による等必要がある場合において、別に定められた取扱いによることができる。</p>

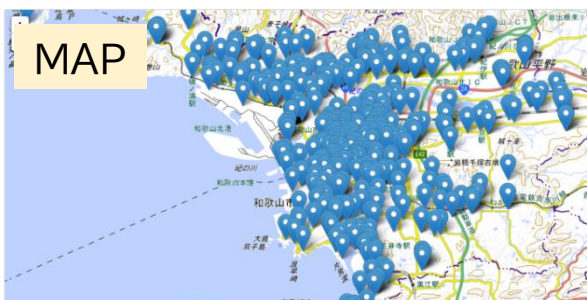
出所: [和歌山市例規集検索](#)

# 和歌山市のオープンデータ

- 和歌山県さんや紀の川市さんを参考にオープンデータカタログサイトを開設。現在は、人口、AED設置箇所、公共施設、指定緊急避難場所などの自治体標準オープンデータセットに加えて、国勢調査ベースの人口や画像オープンデータなどを掲載
- 個人的には、コーディングやアプリ制作スキルは皆無なので、データ整形・加工不要でBIツールで使えるかを意識し推進



<https://odcs.bodik.jp/302015/>



API連携

注: グラフは和歌山市の人口ではありません

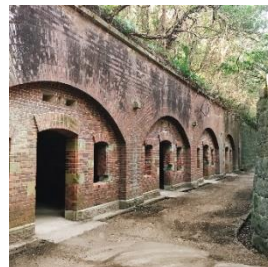


出所: BODIK\_ODCSに登録されたデータをAPIに変換 | BODIK | ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州

APIがあることでデータ取込みが容易になり、誰でもアプリ・ダッシュボード作成しやすい

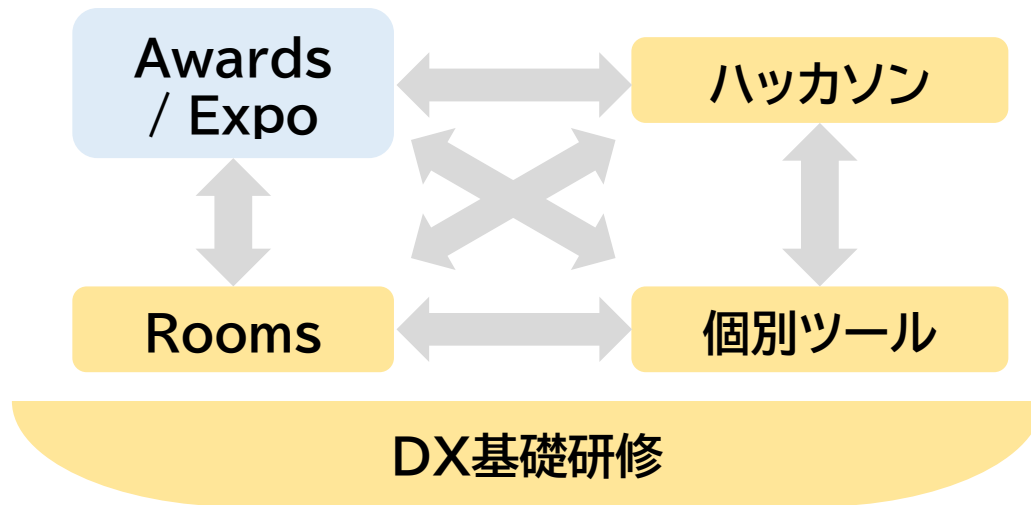
年月	内容	データ種	備考
H31(2019).4	オープンデータ公開	7種	市HPIにCSVを公開
R1(2019).10	データ種追加	13種	//
R1(2019).11	データ種追加	14種	//
R4(2022).5	DX推進計画策定	//	
R4(2022).7	オープンデータカタログサイト開設	//	CKAN <sup>+</sup> によりMAP表示やAPI連携が可能
R4(2022).8	データ種追加	22種	†:CKAN(シーカン):オープンソースデータマネジメントシステムで、世界的に事実上の標準
R5(2023).2	画像オープンデータ掲載	23種	
R5(2023).5	3D都市モデル(PLATEAU)の掲載 自治体標準オープンデータセット移行	24種	
R5(2023).5	和大会社インフォマティクス学環で取組紹介	24種	

数値データだけではなく、画像データもオープンデータとして掲載



# DX人材育成・機運醸成

- 庁内のDX人材の引上げと底上げを目的に、和歌山県・市町村DX統括アドバイザーによる自治体DX入門セミナーのみならず、予算ゼロでの自前研修や仕掛けを実施



名称	概要	期間・時間	想定頻度	備考
DX基礎研修	基礎的な研修	1～2時間程度	年1回？	実施済。今後も継続開催
DX Rooms	ハンズオン支援、コワーキング	1日(～1週間)	半期1回？	実施済。今後も継続開催
DX ハッカソン*	ハッカソン、夏合宿、山ごもり	1日程度	年1回？	実施済。今後も継続開催
個別ツール	Power BI、LoGoフォーム	1日	半期～年1回？	実施済。今後も継続開催
DX Awards / Expo	事例紹介・発信、発表会、展示	—	年1回？	未実施。

\*ハッカソン2023の資料はデジタル改革共創プラットフォームの#デジ.pj デジタル人材に投稿済

# 生成AI利用ガイドライン

- 和歌山市では、ほぼ全職員に貸与している2800台超のインターネット系PCをメインに業務遂行  
参考:正規+再任フルタイム職員で約2800人。LGWAN系PC約200台(各課1台、主計員など)、マイナンバー系PC約800台(原課、SE作業用)
- 注意すべき事項を守ったうえで、積極的に活用する方針で生成AI利用ガイドラインを策定。報道各社、職員、他自治体、商工会議所から問合せがあるなど反響があった。今後、無償の範囲内での利活用を予定

## ●経緯

年月日	内容	補足
R5(2023).5.12	令和5年度全州市町村長会議	
R5(2023).5.12	市長より生成AIの利活用検討の指示	
R5(2023).5.25	市長定例記者会見	<a href="#">生成AIの活用に向けた研究会を立ち上げます</a>
R5(2023).5.26	研究会参加者の庁内公募	班長以下13名の有志若手職員
R5(2023).6.5	第1回WG	議題:複数の生成AIツールの概要を共有(報道公開有)
R5(2023).7.4	第2回WG	議題:生成AIを使用した所感や活用先の案出し
R5(2023).7.24	第3回WG	議題:生成AI利用ガイドライン案について
R5(2023).7.28	報道投げ込み	<a href="#">生成AIガイドラインの策定について</a>
R5(2023).8.2	生成AI利用ガイドライン策定	新聞・テレビなど複数の報道

## ●研究会メンバー構成

役職:	所属:	メンバーの所感:
班長	デジタル推進課、企画政策課、行政経営課、	● 業務活用の視点から使うきっかけになった
企画員	市民課、地域保健課、高齢者・地域福祉課、	● 利点だけでなく、欠点や限界を体感できた
主査・副主査	観光課、都市再生課、消防総務課、監査事務局	● メンバーの前向きな姿勢やアイデアが、良い刺激になった
主任・副主任		
主事	年代:20~40代	

## ●サンプル

DX研修で事例発表をします。あいさつ文を200文字程度で作ってください



本日は、このような素晴らしい機会をいただき、心より感謝申し上げます。今回の事例発表を通して、DXについての洞察や知識を共有し、皆様との有意義な交流を図りたいと考えております。共に学び合い、新たな視点を得ることで、一步前進できることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

DX研修をアピールする、カラフルなイラスト



# 困りごとの共有

あくまでも個人の感想であり、組織を代表する意見・見解ではありません。



## オンライン申請

- 新規業務であればオンライン申請が選択される(担当課で自走する)が、既存業務へのオンライン申請フロー追加は抵抗感・拒否感が大きい
- エクセルやパワポは扱えるのに、それよりも簡単なローコードツールへの抵抗感・拒否感

## ペーパーレス

- 紙文化・習慣が非常に根強い
- 議会答弁勉強会で年間5万枚以上(両面印刷)の紙印刷
- データ送付で完結できるのに、なぜか紙を要求される。ただし、データも要求される
- 決裁のために印刷する
- 外付けモニタ不足

## オープンデータ

- 利活用フェーズでのニーズやシーズが分からない
- 神エクセルというレガシーにより、オープンデータとして公開するために整形加工
- 他自治体や和歌山大学との連携の進め方
- BIツールの詳細の使い方
- BIやGISツールで、点表示はできるが、線や平面の表示

## その他

- 周りの錯綜した情報や行動に振り回される
- DXを進めることで人員が減らされるという懸念から、強い抵抗感を持たれる
- 異動による継続性喪失への不安(公務員の宿命?)
- ビジネスチャットが使われない。そもそも個人メールも使われていない